

令和7年2月

学生のみなさんへ

全学教育推進機構

カリキュラム改革 WG

令和7年度以降全学共通教育科目の主な変更について

令和7年度以降、全学共通教育科目のうち、「アドヴァンスト・セミナー」、「情報教育科目」および「健康・スポーツ教育科目」についてカリキュラムの改善を実施しました。以下に主な変更点についてまとめます。

みなさんが、改善されたカリキュラムを存分に活かした履修計画を立ててくれることを期待しています。なお、各学部の履修条件の詳細については、必ず、各自要件年度の履修の手引きで確認してください。

【教育改善の概要及び内容】

1. 教育改善の背景、経緯、主旨

令和7年度から、高校新課程を履修した学生の入学がはじまります。新課程では「情報I」や「総合的な探求の時間」が必修となっており、大学の初年次教育においても情報データ科学教育の見直しや、主体的・対話的な学習の拡充が必要となっています。また、近年の時代の流れとして、データリテラシーや健康スポーツ科学に関して教育の強化が求められており、この点は大阪大学の基本方針であるOUマスタープランにも盛り込まれています。そこで令和7年度から、下記三点についてカリキュラム改善を実施することにしました。

2. アドヴァンスト・セミナー

「アドヴァンスト・セミナー」は主に秋冬学期に開講されている少人数セミナー型の科目です。全学教育推進機構では、これを春夏学期開講の「学問への扉」に続く主体的・対話的学習の場にしていきたいと考えています。この科目をなるべく多くの方に履修してもらえるように、令和7年度入学者からはすべての学部で「アドヴァンスト・セミナー」を卒業要件

内科目に設定しています。

3. 情報教育科目および専門基礎教育科目(統計学)

データ活用がますます重要になる社会を見据え、データリテラシー教育の充実をより一層はかるため、「情報社会基礎」と「情報科学基礎」の授業内容を刷新し、「統計学 BI」と「統計学 CI」についても授業内容の改善をおこないました。令和7年度以降の授業では特に、AI 関連の基礎知識や、ICT 利活用を前提としたデータ分析などに関する内容を拡充しています。なお、「情報教育科目」及び「専門基礎教育科目(統計学)」に関しては授業内容の変更のみで、各学部での従前からの卒業要件等に変更はありません。

4. 健康・スポーツ教育科目

近年の健康スポーツ科学における教育強化の流れを受け、従来1単位科目であった健康・スポーツ教育科目を、2単位科目「スマート・スポーツリテラシー」および「スマート・ヘルスリテラシー」科目へと再構築しました。理論と実践の両面を重視し、学んだ知識を柔軟に活用できる能力を育成するとともに、履修後もサステナブルな身体活動へとつなげることを目指しています。「健康・スポーツ教育科目」については、令和7年度から単位数変更に伴って各学部における卒業要件科目構成に変更が加わっていますので、注意してください。

▶令和6年度以前入学者の健康・スポーツ教育科目の卒業要件単位について

【R7.4.1 現在で、健康・スポーツ教育科目の卒業要件単位を修得していない学生対象】

◎履修の注意について

全学共通教育の「履修の手引」について、本カリキュラム改善に対応した改訂版の新たな配布は行いません。以下のルールに従って、着実に単位修得を進めてください。

- ✓ 今回の教育改善で、履修手続及び卒業要件科目構成に変更があるのは、健康・スポーツ教育科目のみです。
- ✓ 全学共通教育科目「履修の手引」の健康・スポーツ教育科目に関する該当部分の改訂および新たな配布は行いません。
- ✓ 本通知を正式な案内とし、健康・スポーツ教育科目の卒業要件に関わる科目構成の変更や読み替えを行います。

- ✓ 健康・スポーツ教育科目の卒業要件単位を修得完了するまで、本通知を適宜確認できるように保存し、着実に単位修得を進めてください。
- ✓ 令和7年度以降は「スポーツ実習A」、「スポーツ科学」、「健康科学」、「健康科学実習A」は開講されません。
- ✓ 代替科目として「スマート・スポーツリテラシー(2単位)」、「スマート・ヘルスリテラシー(2単位)」が開講されます。
- ✓ 履修登録上、「スマート・スポーツリテラシー」、「スマート・ヘルスリテラシー」は2単位科目と表示されますが、単位修得後は、下記の読替対応表の順位に従い、1単位科目として読替われます。

【健康・スポーツ教育科目】

開講される科目(2単位)		読み替わる科目(1単位)
スマート・スポーツリテラシー		【1位】スポーツ実習 A(必修科目)
		【2位】スポーツ科学(選択必修科目)
スマート・ヘルスリテラシー		【1位】健康科学実習 A(選択必修科目)
		【2位】健康科学(選択必修科目)

履修状況に応じて読み替え対象の科目が異なるため、十分に注意が必要です。履修登録の際は、必ず自身で現在の単位修得状況を確認のうえ、適切に登録してください。

【履修例】

- ① 「スポーツ実習A」(必修科目)1単位のみ修得していた場合：
 - ⇒「スマート・スポーツリテラシー」または「スマート・ヘルスリテラシー」のいずれかを履修し、残りの1単位分を修得する必要があります。
- ② 今まで健康・スポーツ教育科目の単位を全く修得していない場合：
 - ⇒必ず「スマート・スポーツリテラシー」を履修します。この科目は従来の「スポーツ実習A」1単位に読み替えられます。なお、1単位分として認定されるため、さらに「スマート・スポーツリテラシー」または「スマート・ヘルスリテラシー」のいずれかを履修して、残りの1単位を修得する必要があります。
- ③ 「スポーツ実習A」以外の健康・スポーツ教育科目を1単位だけ修得していた場合：

⇒必ず「スマート・スポーツリテラシー」を履修して、「スポーツ実習A」(必修科目)1単位分を修得する必要があります。